



公益社団法人 岐阜県交響楽団

〒501-3133 岐阜市芥見南山3丁目7の10  
TEL<058>244-0150 FAX 244-0151  
ホームページ <http://gikyo.ktroad.jp/>



# 理事長就任のご挨拶

公益社団法人 岐阜県交響楽団  
理事長 矢橋修太郎

このたび、名誉理事長となられました岡本太右衛門様の後任として理事長を仰せつかった矢橋です。今までは、単に音楽が好きだということだけで参加させて頂いていた小生に、今後は責任者をやるようにとのこと、身も心も引き締まる思いです。

改めて当団の歴史を繙いてみると、まさにそれは岡本名誉理事長のレガシー以外の何ものでもありません。このレガシーを

大きく三つにまとめさせて頂くと、

一つ目は、名誉理事長が、1986年(昭和61年)以来36年に亘って、この岐阜の文化レベルの向上という一貫した信念のもと、当団の運営にそのお力を発揮され、1953年(昭和28年)岐阜大学の宮崎先生のご尽力で生まれた学生中心の交響楽団を、組織的にも財政的にも安定した今の姿にまで育て上げてこられたというところ。

二つ目は、1998年(平成10年)設立45周年にプロ仕様練習場を作られたこと。オーケストラにとっては、皆が揃って一緒に音を出せるスペースの確保が大きな課題です。名誉理事

長は、お持ちの土地を提供された上に、率先して皆さまからの篤志を募られて完成させられました。今では団員の心の拠りどころとなりました。

三つ目は、日頃の研鑽の成果を皆さまに見て聴いて頂く定期演奏会はもちろんのこと、5年の周年毎に大きな目標を掲げて、団員、役員の気持ちをひとつにされ、それを見事に実現されてこられたことです。45周年には練習場が完成し、50周年には東京のサントリーホールでの公演、55周年は音楽の都、あしがれのウイーンの楽友協会、65周年には名古屋の愛知県芸術劇場、70周年(2023年)の、コロナなかりせば、ニューヨークのカーネギーホール公演(これは残念乍ら中止し、代わりに名古屋の愛知県芸術劇場となりました)と、次々に成功させられました。こうした挑戦は、団員の意識や技能のみならず、当団の地位の向上にも大きく貢献

して来たことは言を俟ちません。以上、名誉理事長のレガシーを上げさせて頂きましたが、新任の小生と致しましては、このレガシーを間違いなく継承し、更に発展させて行くことが、最大のミッションであると考えております。たちまち控えておるのが70周年行事の名古屋公演でありますので、この行事をまず成功させるべく覚悟を新たにさせて頂くところでです。

これからも引き続き、役員、団員の皆さま方と共に、この岐阜の地から素晴らしい音楽を全世界に発信し続けることをお誓いして、就任のご挨拶とさせて頂きます。

(矢橋大理工株式会社 代表取締役)

# 理事長退任のご挨拶

公益社団法人岐阜県交響楽団

前理事長 岡本 太右衛門



六月の定時総会で岐響の理事長を退任する事となりました。長い間皆様にご支援と御協力を頂きありがとうございます。私（昭和61年）から6年副理事長、1992年（平成4年）から30年理事長と計36年間岐響の運営に携わせて頂きました。近年体調を崩し歩行もままならず、特に耳が悪くなり大好きな音楽が雑音にしか聞こえず、苦行の日々が続いて居ります。そんな意味でまことに残念ですが理事長の勤めを果たすことが出来なくなりました。

思い返せば元々音楽は好きでしたが、学校を卒業し実業の社会に入ってから、音楽と無関係の日々を過ごして居りました。たまたま、友人の真鍋英夫さんに誘われ岐阜県交響楽団の運営に協力してくれと依頼されました。岐響の皆様と接すると本当に熱心に音楽活動に取り組んで居られ、何とか岐響をもっと立派な存在にしたいと努力しました。

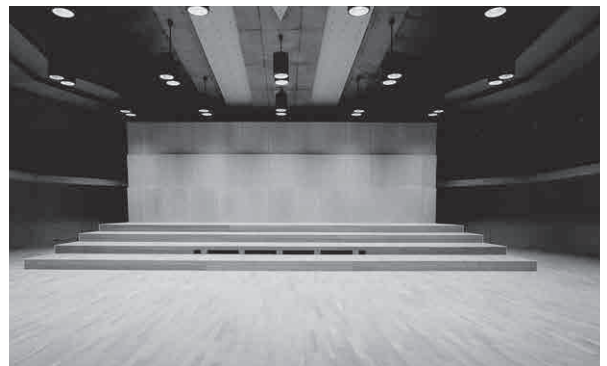
まずは財務面での安定化を計るため、会員増強に取り掛かり県内の企業団体の協力を得て成果を得るに至りました。次は練習場の問題です。決まった練習場がなく毎週の公民館の予約取りも大変な作業でした。何とか自前の練習場を持つことが出来ないかと県・市に交渉しましたが中々難しい問題でありました。一時はボーリング場の跡

を借用、或いは流通センターの空き家を利用したりしましたが長続きは出来ませんでした。そこで私の関係している土地に岐響自身の練習場を建設しようという決心し、県・市財界の協力を得て平成10年12月に現在の練習場が完成しました。



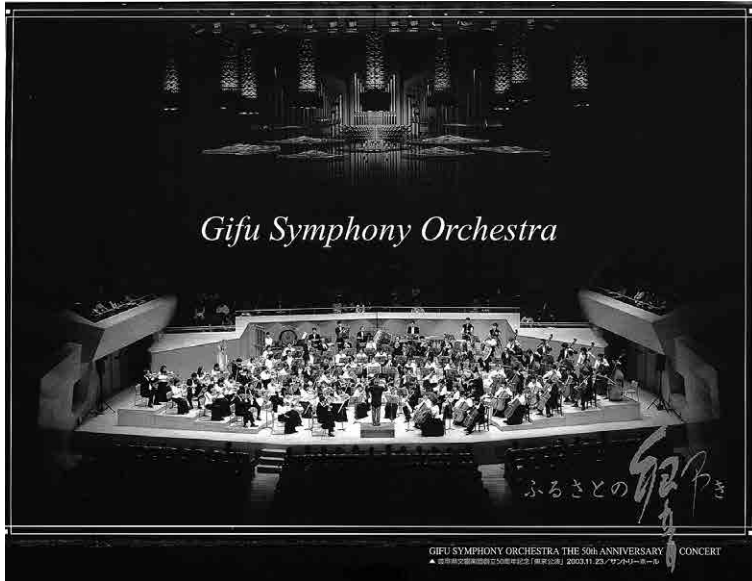
▲岐阜県交響楽団 練習場（外観）

岐響創立のリーダーとして岐阜大学宮崎直一先生が常に言って居られた言葉「地域の文化のパロメーターとしての岐響」をモットーとして更に岐響の飛躍を団員と共に誓い合い、アマチュアオーケストラとしては日本一と言え



▲岐阜県交響楽団 練習場（内観）

る練習場が誕生しました。この成果を発表する為、日本一のコンサートホール、サントリーホールで5年後の創立50周年記念公演を決心し、挑戦する事となりました。幸いに岐響を応援して頂いて居る方々在京県民の方々の協力を得て満席のお客様を迎えて盛大に公演を終える事が出来ました。次は世界一のコンサートホールウィーンのムジークフェラインへ行こうと5年後創立55周年記念事業に取り掛かる事となりました。



▲東京公演 サントリーホール (2003.11.23)

▶ウィーン公演ポスター



▲ウィーン公演 ムジークフェライン (2009.5.4)



岐阜市の姉妹都市ウィーンマイドリング区長の絶大の支援、当時のオーストリア田中大使、或いは岐阜の諸団体の協力の下、大勢の参加者を得て見事なコンサートを行うことができました。私にとつては夢の様な出来事で生涯忘れない思い出となりました。

その後60周年・65周年と地元で音楽活動を行い、70周年記念行事を計画する事となりました。今度は世界で一番有名なアメリカニューヨークのカーネギーホールで70周年記念コンサートをしようと言う事になりました。色々な方のコネもあり2023年5月2日に予約が取れ、準備に取りかかる段階となりました。と

ころが皆様御承知の如くコロナウイルスの発生となり世の中は一変致しました。残念ながら岐阜のカーネギーホール公演も断念せざるを得ない事となりました。これからは新しい矢橋理事長の下、構想をねらわれて行くと思いますが、世の中が落ち着いて活発な音楽活動が再

現される様祈つて居ります。岐阜に対する市民の期待は大きく、これに応えて岐阜が益々発展するよう祈り退任の挨拶とさせて頂きます。  
(株式会社ナバヤ代表取締役会長)



# 「ナナゼロプロジェクト活動だより」

## ■音楽技術向上チーム

坂 淳子

音楽技術向上チームでは、練習の質の向上と確実な技術向上を目指し、二つの手立てのもとにこの一年間取り組みを進めました。

### 手立て① プロ講師の先生方にコンスタントなトレーニングを依頼

演奏会までの練習期間を長期的に見て、団内トレーナーと合わせ、良いタイミングでのプロ講師の先生方によるトレーニング回数を増やしました。酒井先生（合奏指導）、寺田先生（高弦）、榎原先生（低弦）、松原先生（弦アドバイザー）、依田先生（合奏・管打分奏）、石田先生（合奏・管打分奏）という体制で、本番までトータルでトレーニングしていただきました。

### ＜その効果と団員からの声＞

○練習参加への意欲向上  
「しんどい中でも練習に参加しようというモチベーションになっていく。」  
「気が引き締まって、練習に行くのが

楽しみになった。」

○練習への取り組みについての意識向上  
「何を課題として何に取り組むべきかがはっきり見えて練習できた。」  
「トレーナーから良い評価をもらうことで、更なる技術向上への意欲に繋がった。」

### ○上達への向上心

「練習で明らかに変わった課題や指示された点をまとめてパート内で共有し、課題解決を心掛けた。」  
「トレーニングの派生として講師の先生にパートレッスンや個人レッスンを依頼し受講するなど、パートレベルでも個人レベルでも取り組み意欲が向上している。」

### 手立て② 団員自身による自発的な技術向上

団員それぞれが自発的に意欲をもって取り組めるような工夫をしました。

＜長期練習計画の立案と共有＞定期演奏会に向けての練習スタートから本番までの練習内容をあらかじめ組んでおき、団員全員で共有するようにしました。練習計画が緻密になり、いつまでにどのくらいできていないといけないかなど長期の見通しをもって練習にのぞめ

るようになり、曲の仕上がり具合が以前よりも早くなるなどの効果を感じる事ができました。

＜目標を策定し取り組む＞各演奏会の目標を明確化し、目指すべき方向性を共有するようにしました。その効果として、周りの音を聴きながらアンサンブルしようと意識をすることが早い段階からできるようになってきたり、リズム感・フレーズ感・ハーモニーづくりなど目指すべき方向性を意識できるようになってきたりしています。

＜アンケートの利用＞中間評価や本番後の自己反省をアンケートとして実施し、期間後半の軌道修正や、次回演奏会への改善点の洗い出しを行いました。

＜小編成での練習やミーティングタイムなど＞弦楽器を小さな編成に分けて練習をするなど様々なアイデアにより、練習に前向きな姿勢で取り組めるようになっています。それにより普段受け身になりがちな団員が、スコアの読み込みや他パートへの声掛けなど積極性がみられたり、トップ合わせを自主的に行ったりすることが増えてきました。また、練習前にあえてミーティングタイムを設け、言葉でのコミュニケーションも大切にしました。

以上のような取り組みによって少しずつ良い方向に向かっていけると感じます。しかし、満足できるアンサンブルができていくかと言ったらまだまだ不

十分です。音楽的な呼吸、拍子感の共有、パート間やセクション間での音楽の共有、そしてピッチコントロールや美しい和音や音色に対するこだわり、自発的な音楽づくり、などを更に高めていく必要があるにあり、今年度の課題と感じています。

常日頃より地域の皆さまの温かな応援や励ましに感謝申し上げます。70周年記念公演でよりよい演奏をするため、また地域文化の担い手としての責任を果たせるよう、団員一同力を尽くして取り組んで参ります。オーケストラはお客様によって育てられます。今後とも岐阜県交響楽団をどうぞよろしくお願いいたします。

### ■地域社会貢献チーム

杉山 浩一

岐響創立70周年記念事業『ナナゼロプロジェクト』での『地域社会への貢献』に向けた今年度の活動予定を紹介いたします。

まず、『岐響まちかどコンサート』については、小編成のアンサンブルによる気軽なコンサートを、県内の身近な場所で開催します。今年度は、9月23日（金・祝）『長良特別支援学校』、11月11日（金）『美濃加茂市文化会館ロビー』、12月11日（日）『アクティブ

Gふれあい広場』での開催を予定して  
います。なお、今年3月の『岐阜かか  
みがはら航空宇宙博物館』での『岐響  
まちかどコンサートin空宙博』は、ま  
ん延防止等重点措置により中止とな  
りましたが、日程を延期して開催したい  
と思います。

次に、『こんにちは！岐響です』コン  
サートについては、オーケストラ編成  
による訪問コンサートを、県内の公共  
施設で開催します。今年2月に岐阜県  
文化創造課を経由して、県内全ての市  
町村の文化行政担当部署に、本事業を  
周知して公募した結果、10月2日(日)  
に、揖斐郡大野町(総合町民センター)  
での開催となりました。他にも開催希  
望の市町村がありました。今後も継続  
して開催できればと思います。



さらに、地域の青少年育成のための  
事業も行っていきたいと考えていま  
す。これまで、岐響ジュニアオーケ  
ストラの育成や、学校向け実演芸術ア  
ウトリーチ事業(年2回)など、地域  
の青少年育成に取り組んでいます。こ  
れらの活動に加えて、今年度は『集  
まれ、ちびっこソリスト』という企画  
で、幼児から小学校低学年の弦楽器  
(ヴァイオリン、チェロ)奏者を対象に、  
来年3月のファミリーコンサートで共  
演することを検討しています。

こうした活動を通じて、将来の岐響  
ジュニア・岐響団員への間口を広げる  
とともに、公益社団法人としての活動  
目的である『演奏活動等を通じて岐阜  
県の芸術文化の普及と向上発展に寄与  
すること』に貢献したいと思っています。

■岐響PRチーム

平尾 純子

○岐響創立70周年シンボルマーク決  
定！

創立70周年記念事業をより一層盛り  
あげていくため、一般の方々より広く  
岐響創立70周年シンボルマークを公募  
しました。全国より32点もの応募をい  
ただき、その中から団員による投票で  
シンボルマークを決定、3月20日(日)  
に開催された「岐響ファミリーコン  
サート2022」の冒頭で発表させて

いただきました。コロナ禍であること  
から作者のご来場は叶いませんでした  
が、次のような暖かいメッセージをい  
ただきました。

「作品は『地域に根ざした活動』を  
キーワードに岐阜県のシルエットを  
採用。そして、皆様に親しまれている  
『岐響』という略称に注目し、図案化  
しました。また、70の文字は五線譜を  
モチーフにして、曲線を取り入れるこ  
とで音楽の美しさや滑らかさをイメー  
ジしました。今後も地域の皆様に愛さ  
れるオーケストラとして活躍されま  
すことをお祈り申し上げます。」

今回採用には至らなかった応募作品  
も、どれも岐響への応援の気持ちが伝  
わるとても素敵な作品ばかりでした。  
あらためて、応募してくださった皆様  
へこの場を借りて心より感謝申し上げ  
ます。

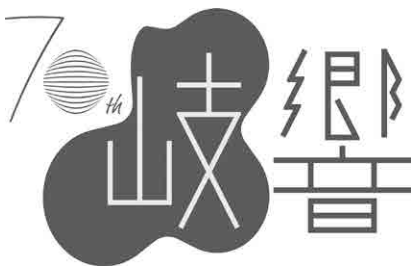
岐響創立70周年シンボルマークは、  
今後創立70周年の年である2023年  
(令和5年)までの間、岐響が作成す  
る広報物、グッズ等で使用されます。

第97回定期演奏会においても全ての団  
員がシンボルマークのピンバッチをつ  
けて演奏します。多くの方々には様々  
な場面で目にして頂けると嬉しいで

○岐響紹介リーフレット作成  
創立70周年記念事業に向け、これま  
で岐響をご存じなかった方々にも広く  
岐響のことを知っていただくため、岐  
響紹介リーフレットを作成しました。  
今後「岐響まちかどコンサート」や「こ  
んには！岐響です」コンサートなど  
で配布して、岐響のPRに役立てたい  
と思います。

○SNSを通じた岐響PR

現在岐響ではFacebookと  
Twitter、Instagram  
を通じて練習や演奏会の様子、演奏会  
の間きどころなどを発信しています。  
今後も岐響をより身近に感じていた  
けるような楽しい投稿をして参ります  
ので、是非多くの方々にご覧いただき、  
フォローしていただけると嬉しいで  
す！



▲岐響創立70周年シンボルマーク

# 「打楽器パートは個性が大事」 楽器別パート紹介 打楽器編

本日は、岐響の定期演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。我々の演奏で、皆さまの精神的な力となる「何か」を感じていただければ、うれしく思います。

さて、今回は打楽器パートの紹介。その特徴は、一言でいうと「たくさんの個性的な楽器がある」ことです。今回の演奏会でもたくさんのお楽器が並んでいるのが見えますよね。そして、各奏者が様々な楽器を担当しており、得意不得意はありますが、複数の楽器を演奏できるのは、打楽器の特権だと思います。

そんな演奏者も、それぞれ個性を持っています。そこで今回、各人がどんなことを考え、どんな演奏を目指して楽しんでいるのか、自己紹介させていただきます。「ああ、あの人はこんな演奏していたんだなあ」と打楽器に興味を持っていただければ幸いです。

- ※番号と質問は以下の通り。50音順です。
- ① 打楽器歴
- ② 打楽器を始めたきっかけ
- ③ 一番好きな楽器と理由
- ④ 演奏で一番大事にしていること
- ⑤ 今後やりたいこと、チャレンジしたいこと(曲や演奏のことなど、なんでも)

## 清信(きよし まこと)

① 33年目に突入。  
② 音楽は子供のときのピアノ教室がきっかけ。大学入学時に「また音楽をやってみよう」と思い、最初にたまたま覗いたのが大学オーケストラの説明会。そこで、つい「打楽器をやってみよう」と思ったのがすべての始まりです。

③ もちろんティンパニが一番面白いのですが・・・一番好きな楽器は「シンバル」。理由は、一番自在に操る自信があるから(笑)。シンバルといえば「ジャーン」という大きな音をイメージされると思いますが、実は小さい音でもオーケストラの響きを彩り、音楽の世界をガラッと変えることができる繊細な楽器です。特にラヴェルやドビュッシーといったフランス作曲家は、シンバルの使い方が極めて繊細。そんなスコアとパート譜を見ると「この音符はどんな表現をしてみようか」とワクワクが止まりません。

④ 今一番大事にしていることは「作曲家と指揮者が求めるイメージの音」を出すこと。リズムはもちろん、音量や音色、時にはオーケストラの状態や場

の雰囲気も見つつ、楽譜に書かれた一音一音を大切に、かつ臨機応変に演奏しています。

⑤ 自分が満足できる「理想の音楽」を作り出すこと。20年以上前にピートたけしが「習い事としてのピアノ」について語っていたことが忘れられませんが、「もちろん趣味でやるとしても、一生懸命やる。すると、一回もしくは一瞬だけでもプロに負けない自分の理想の演奏(音楽)が出来るかも・・・そう考えると、すごく面白くなるんだよ。」未だに理想の音楽はできていないので、今後も(年齢的な)限界がくるまで、チャレンジを続けます。



## 末松 里菜(すえまつりな)

① 20年ほど  
② 音楽教室のアンサンブルレッスンがきっかけであったように思います。本格的に始めたのは、音楽高校受験を決めた中学生の時です。

③ ティンパニです。ティンパニは「第二の指揮者」といわれるほど、オーケストラにとって重要な役割を担いま

す。音を鳴らす際、早めに発音すると、オーケストラ全体が面白いほどギョッと引き締まり、逆に遅めに響かせると、優しい印象になります。「打音だけでオーケストラの音色(雰囲気)を変えられるその魅力と可能性の幅広さが、好きな理由です。(もちろん、打楽器は全部好きです!)

④ 楽しむことです。音楽を専門的に勉強しようとすればするほど、「楽しむ」ことが難しくなってきます。音楽大学・大学院を卒業した今、いい意味でとにかく「楽しむ」ことを大事にしています。

⑤ 今演奏したいのは、ベルリオーズの「幻想交響曲」です。この曲は、第3楽章で4台のティンパニを4名の奏者で演奏する、少し珍しい場面があります。せつかく出会った岐阜県交響楽団の打楽器メンバーで、いつか演奏したいです。



## 岡司 義勝(よしよしかつ)

① 岐響に入団してから40数年。  
② 今から48年前、ラジカセが普及し始



めFM放送のエアチェックがブームになっていった頃、私も人並みにクラシック音楽に興味をもつようになりまし  
た。大学入学後、しばらくして構内を  
歩いてみると、すぐ横の古い木造の2  
階建て建物の中から楽器の音が聞こえ  
てきました。中を覗いてみると、オー  
ケストラのメンバーの人たちが練習し  
ていました。そこで声をかけられ入団  
することになりましたが、32か33番目  
と遅かったので打楽器しか空いていま  
せんでした。

③入学当時は2管編成のオーケストラ  
でしたが、ブームもあり卒業する年に  
ブルックナーの交響曲第4番ができる  
ほどまでに団員が増え続けていきまし  
た。とはいえ、も楽器は十分ではなく、  
自前の打楽器は手締めのティンパニ3  
台とシンバルしかありませんでした。  
こういった環境だからでしょうか、こ  
ういった環境だからこそ、馴染んだ  
楽器と言えます。逃げ隠れできない楽  
器ですが、なかなか覚悟が決められな  
いですね。



④音楽全体をよく聴いて演奏したいと  
思ってはいますが、聴いてから入って  
しまおうと遅れてしまおうので難しいとこ  
ろです。

⑤今年から事務局の仕事をすることに  
なりました。つたないながらも演奏を  
続けさせていたいただいたお返しを少しで  
もできればと思っております。

**名和千草 (なわちぐさ)**

①岐響に入団して今年で45年目です。

②私と打楽器との出会いはシロフォ  
ン！今からうん十年前、入学したての  
小学校から頂いてきたお便りから始ま  
りました。それは「シロフォンを習い  
ませんか」というものでした。社会教  
育の一環としてシロフォンの先生が学  
校で指導して下さいました。その後、  
シロフォンは鍵盤の木を上質の物に  
し、パイプを付けて響きを良くするな  
ど改良され、音域の広い大型楽器「マ  
リンバ」となりました。私はマリンバ  
の音色に魅せられていきました。ある  
日、岐阜県交響楽団の一員であったマ  
リンバ仲間がグロツケン(鉄琴)をやっ  
てみないかと声をかけてくれました。  
楽譜の見方も分からない程無知であっ  
た私のオーケストラ活動の第一歩でし  
た。その曲は團伊玖磨作曲「交響詩  
長良川」でした。

③トライアングルです。「チン」と鳴  
る1音が大切な音となるからです。曲  
の中で小さな音で「チーン」と響くと、

そこから音楽が変わる、物言う音にな  
ります。数少ない音で表情をつくって  
くれます。

④叩けば鳴る素朴な楽器ですが、景色  
がイメージできる様な音を出すことで  
す。

⑤打楽器メンバーで、息の合った打楽  
器アンサンブルをしたいです。



**山下 彩香 (やましたあやか)**

①15年くらい。

②中学生の時、吹奏楽部顧問の先生か  
ら「パーカッションが足りないの。あ  
なた楽譜読めるからシンバル叩きにき  
て。」と誘っていたのがきっかけです。  
その後すっかり吹奏楽の魅力  
にはまってしまい、正式に部員になり  
ました。

③大太鼓 理由は、低音が大好きだか  
らです。耳ではなく心臓に直接響いて  
くるようなfffの一発が最高です。ま  
た、会場でしか聴こえないppの一発  
やロール(ドコドコ...)と連続で叩く奏  
法)も大好きです。今回のプログラム  
では、フィンランディアのpppで叩

くロールは温かく、ガイーヌの最後に  
出てくるffはお客様の心臓を響かせる  
ようにガンガン叩きますのでお楽しみ  
ください。

④他のパートの方々に、パーカッショ  
ンに合わせれば大丈夫と思っていただ  
けるよう、リズムやテンポはどのパー  
トよりも正確に、指揮の変化にはいち  
早く対応できるようにすることを大事  
にしています。

⑤オンライン視聴が普及して便利にな  
りましたが、やはり生演奏のパワーは  
人の心に響くものがあると思います。  
演奏会に足を運ぶことが難しい方な  
ど、様々な方に演奏をお届けできるよ  
うに今後頑張りたいです。話は変わ  
りますが、私はゲーム音楽が好きなの  
でFF(ファイナルファンタジー)やMH  
(モンスターハンター)をいつか演  
奏してみたいです。



最後に・・・それぞれの個性は  
大事ですが、全員「打楽器が大好き」  
なのは同じです(笑)。

今後、パート一丸となって楽し  
く良い音楽を作っていきます！

# 令和 4・5 年度公益社団法人岐阜県交響楽団役員

(敬称略)

## 理事長

矢橋修太郎

## 副理事長

辻 正 池田 直樹  
 篠田 元弘 田口 隆男  
 早川 幸

## 理事

有賀 信彦 井戸 輝雄  
 井上 豊秋 岡本 知彦  
 桂川 慎一 澤田 栄  
 篠田祐八郎 千賀 英輝  
 所 洋士 内藤 宙  
 中村 雅彦 水谷 泰三  
 向井一比古 森 益男  
 山口 嘉彦 山本 耕

## 常務理事

早川 幸 (副理事長兼務)  
 浅野 順一  
 木村 哲也  
 山田 哉

## 監事

中原 丈夫  
 後藤 栄一郎

## 運営委員

辻 正 (副理事長兼務)  
 森 益男 (理事兼務)  
 澤田 栄 (理事兼務)  
 千賀 英輝 (理事兼務)  
 中原 丈夫 (監事兼務)  
 後藤栄一郎 (監事兼務)  
 佐々木 淳  
 清水麻衣子

## 会長

古田 肇 (岐阜県知事)

## 副会長

柴橋 正直 (岐阜市長)  
 石田 仁 (大垣市長)  
 村瀬 幸雄 (㈱十六フィナンシャル  
 グループ代表取締役会長)  
 境 敏幸 (㈱大垣共立銀行取締役頭取)

## 名誉理事長

岡本太右衛門 (公益社団法人)

岐阜県交響楽団前理事長

## 顧問

金城 俊夫  
 山本 亜土  
 田口 義隆  
 森脇 久隆

## 参与

坂崎 義雄  
 堀 幹夫



令和 4 年 6 月 12 日開催の  
 定時総会におきまして、理  
 事長はじめ役員交代が承  
 認されました。ご報告申し  
 上げますとともに、益々皆  
 さまに愛される岐阜県交響  
 楽団として一同さらに頑  
 張って活動してまいります。  
 今後ともどうぞよろしく  
 お願い申し上げます。